

投資のリスクを、楽しさ



ひまわり
sec.himawari-

無料web投資セミナ

THE YOMIURI SHIMBUN

夕刊

読賣新聞

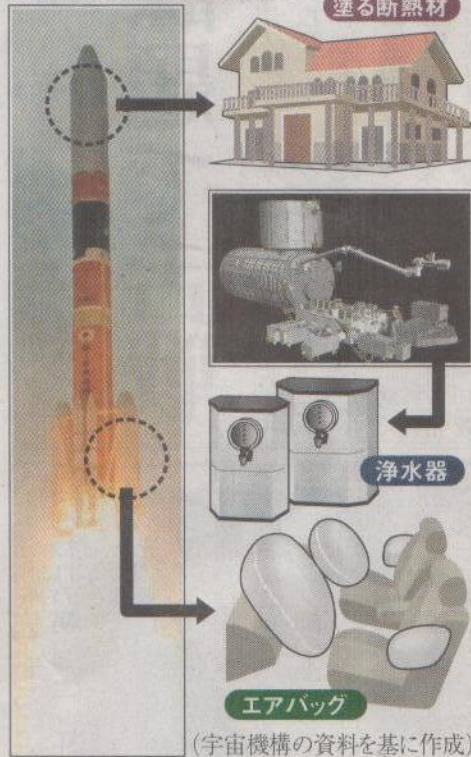
2008年(平成20年)

4月5日土曜日

¥100

日本の宇宙技術でできた商品です

宇宙開発生まれの技術



日本の宇宙技術をPRし、より身近に感じてもらうのが狙いで、宇宙先進国の米航空宇宙局(NASA)の認定商品を超える日本版を目指す。コスモードに認定された商品を製造、販売する企業にとっては、過酷な宇宙環境に使われる信頼

性の高い技術をアピールでき、他社の類似製品との差別化が期待されるという。コスモードは造語で、英語で宇宙を意味するCOSMOS(コスモス)と流行や生活を表すMODE(モード)を組み合わせた。日本の宇宙開発から生ま

コスモード

国際宇宙ステーション(ISS)で日本の有人施設「きぼう」の運用が始まったのに合わせて、宇宙航空研究開発機構(JAXA)は来月から、日本の宇宙開発技術から生まれた商品などを、独自の宇宙ブランド「JAXA COSMOS MODE PROJECT」(コスモード)に認定する制度を始める。

認定制度でアピール

れた技術や商品はあまり知られていないが、宇宙機構の特許などが利用された商品としては、ISSなど宇宙での利用を目指し開発された特殊なフィルターを使った浄水器、ロケットの機体に使われる断熱効果の高い塗料がある。

土井隆雄さんがスペースシャトル内で着た「宇宙普段着」も、宇宙機構と共同開発されたもので、消臭・抗菌に優れるスポーツ衣料素材として実用化された。補助ロケットの切り離しに使われる発火技術は、瞬時

にふくらむ車のエアバッグに採用されている。衛星観測技術は、皮をむかずに甘さが分かる果物センサーに活用されている。

認定基準は①宇宙機構との共同開発で生まれた技術②宇宙機構の特許技術から生まれた技術③宇宙でも利用可能と宇宙機構が認定した技術が生かされた商品やサービス——の3種類。宇宙機構はロゴマークを考案中で、「先進、信頼、開拓、人類の希望といったイメージを企業活動に生かして欲しい」と話している。



ホタテ漁船「日光丸」日午前10時54分、青森

宇宙機構が共同開発した宇宙普段着を着て、スペースシャトル内で運動に励む土井さん(3月17日撮影、NASA提供)

